

集落支援だより

No.4



ダイオウショウの
マツボックリツリー

問い合わせ：

岩国市中山間地域振興室

集落支援員 金丸 恵子

電話：0827-29-5015

12 月に入り、冬らしい寒さの日もありますが、日中の温度が 20 度近くになる日もあり、寒暖差が大きいので体調管理には十分気をつけてください。

10・11 月と、まだお会いできていない世帯をお訪ねしましたが、その中で平家の落人伝説や雨乞いの大岩に住む蛇の話などの興味深い伝承を伺いました。

何度も訪問していると叶木や六呂師の歴史に非常に興味が湧いてきます。

この土地の自然豊かな景観に魅了されて、移住して来られた方もおられ、2 拠点で生活されている方が大勢います。また、ここで野菜や花を作ろう、子供が来てくれるイベントはできないか、養蜂はできるか、などのお話も少しずつですが、聞こえてきます。

来年に向けて少しでも地域の活性化になる取り組みを続けていこうと考えています。

—皆様、お元気で、よいお年をお迎えください—



12 月 2 日、美和の下畑交流館を訪問した際、数メートルのしめ縄を作っている方たちがいました。付近の神社に持って行かれるものと思っていましたが、「あれは六呂師に持って行った」と聞いて、よくよくお話を伺うと、「岩国物の怪地図研究会」の方が、懇意にしている美和の下畑地区ふるさとづくり推進協議会の方達にお願いして作られたとのことでした。

「岩国物の怪地図研究会」代表の岡さんに早速連絡を取り、12 月 10 日、大藤にある「雨乞いの大岩」、「梅雨左衛門」という名の蛇の住処に同行させていただきました。前日、大藤の村岡会長が周辺の草刈りを済ませておられたので、大岩に絡まっている蔓を取り除くだけでした。「岩の下に穴が開いて、昔は折に触れ、岩の周りをきれいにしてお供えもしていた」と村岡会長からお話を伺いました。

「岩国物の怪地図研究会」の方 7 人、村岡会長、金丸支援員の 9 人で、しめ縄に紙垂（しで）を付け、輪っかにして大岩に被せました。みかんを二つお供えして、それぞれの思いを祈りました。



支援だより No2 より



雄木の実は「イヌビワコバチ」のアパートに！



この樹木はイヌビワと云います。

ビワの実？小さなイチジクに見えるけど、と思われた方もいるのでは…

在来の一ツクの仲間です。

雌木の実はとっても甘いおやつに！

残念ながら雌木はめったにありません。



日積や柳井からも“食”に関心がある人が集まりました。

吉祥の兆しでしょうか?!
竹を燃やし始めたら
虹が現れました。



古竹を燃やし、炎が小さくなったら火を消します。



支援だより No3 より



＜高畑で…＞

10月22日（日）

循環型自然農法で野菜作りを始めようとするグループが集まって、竹炭焼きを行いました。

「自然栽培研究会」の代表 金川浩子さんにお話を伺いました。

「菌ちゃん先生」こと吉田俊道先生の提唱する、糸状菌を利用して、土壌を改良し、野菜の本来持つ力を最大限引き出す農法です。

- ①刈った草と竹炭を土に漉き込む。
 - ②それぞれの野菜に合わせて、畝の高さや幅を変えて整備する。
 - ③マルチを掛けしばらく（数か月）寝かし、菌が増えるのを待つ。
 - ④菌が充分増殖したら植えつけます。
- 以上簡単ですが、「菌ちゃん野菜作り」の方法です。



竹は4回燃やしました。古竹はいい具合に崩れて炭になりました。

サロン師木野開催！

今年最後のサロンが10月17日に高畑公会堂で開催されました。

今回は手や足を使った頭の体操でした。始めは楽勝と思っていましたが、だんだん難易度が上がってくると「えっ！こんなはずでは…」となりました。そっと周りを見ると皆さんもかなり苦労している様子にちょっと安心しました。

来年又、お会いしましょうね！

この蔓植物はハスノハカヅラと云います。一般に葉の柄は葉の縁から出ていますが、これは葉っぱの真ん中から出ています。ハスの葉っぱと同じですね。鹿には嫌われているようで、宮島には猛毒のシキミとこの植物が大手をふっています。